

『日本目録規則 2018 年版』(NCR2018) の 2023.3 更新について

2023 年 3 月 1 日
日本図書館協会目録委員会

2022 年 9 月 20 日付文書「『日本目録規則 2018 年版』の更新について」において、2022 年度以降、「目録委員会で決定した更新事項を適宜反映していく体制をとって」いき、その反映は PDF 版に対して行うとの方針を表明しておりました。

このたび、2023 年 3 月 1 日付で、最初の更新を行います。今回の更新事項は、下記(1)～(3)で、いずれも関連指示子に関する事項です。あわせて、若干の誤植訂正も行っています。更新事項の詳細は、「更新事項累積一覧」ファイル(PDF)をご覧ください。

加えて今回より、章ごと等に分けて公開している PDF 版ファイルすべてを連結した「統合ファイル」も提供することとします。

冊子体(最新は第 4 刷)に対応している旧バージョンは、別途新設した「日本目録規則 2018 年版(アーカイブ)」ページにて引き続き提供します。

なお今後は、上記「アーカイブ」状態からの変更事項を累積的に「更新事項累積一覧」にまとめて提供していくこととし、従来個々のファイルに付してきた「更新履歴」は廃止します(今回更新のないファイルにはこれまでの更新履歴情報が残っていますが、今後更新にあわせて順次削除する予定です)。

記

(1) 関連指示子の新設

NCR2018 の関連指示子はこれまで、RDA の関連指示子に一対一対応させたもののみでした。適用の進行とともに、日本の出版状況等を勘案した用語新設の要望が寄せられ、検討の結果以下のものを新設することとしました。

付録#C.1.2 表現形間の関連

翻刻(表現形)

付録#C.2.1B 非創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体

監修者

付録#C.2.2A 寄与者

校閲者

校訂者

翻刻者

付録#C.4.1 個人と個人との関連

号

筆名

付録#C.4.4 家族と家族との関連

宗家

(2) 関連指示子の修正

付録#C.1.1 および付録#C.1.2 の以下の関連指示子を、より適切と思われる表現に修正しました。

ドラマ化の原作（著作） → 演劇化の原作（著作）
ドラマ化（著作） → 演劇化（著作）
ドラマ化の原作（表現形） → 演劇化の原作（表現形）
ドラマ化（表現形） → 演劇化（表現形）

(3) 付録#C.1.2.1（表現形間の派生の関連）の構成変更

#C.1.2.1A（異なる著作の表現形の派生の関連）および#C.1.2.1B（同一著作の表現形の派生の関連）の小見出しを設ける構成としました。

以上